

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	文化人類学		
英文授業科目名	Cultural Anthropology		
開講年度	2007年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	執行 一利		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
日本とは異質の文化や社会を「知る」ための考え方を学ぶ。我々は無意識のうちに自己の文化の尺度を基準にして異文化を理解することが多い。そこで、「人間の単一性、文化の多様性」を標榜する文化人類学的視覚から人間の文化を考察し、異文化理解の視点を養うことを目的としたい。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし。

<b>【教科書等】</b>
教科書は用いないが、参考書は授業時に多数紹介する。

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

家族、親族と政治組織をテーマとして講述する。我々の知っている家族形態といえば、せいぜい「核家族」や二世帯同居の「直系家族」程度であるが、実際の家族はどのような構造を持っているのかを比較検討する。特に日本の家族については詳しく取り上げたい。一方、裁判所や警察組織の存在しない「未開社会」における政治組織の仕組みはどのようになっているのだろうか。授業では、具体的に民族誌の中からいくつかの社会の実例を紹介し、親族の役割の重要性を指摘する。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

定期試験の成績を主とし、小レポート、出席状況などを勘案して総合評価の予定。

### 【オフィスアワー：授業相談】

### 【学生へのメッセージ】

常時の出席と授業に対する積極的な参加姿勢が求められる。

### 【その他】